



思齊のしせい

大阪府立思齊支援学校 支援室だより
第71号 令和6年1月30日

北東ブロック研修会（本校にて12/26実施）

支援学校センター的機能の取り組みとして北東ブロック教職員（支援学級担任、幼稚園教諭、保育士等）を対象に行った合同研修会。本校紹介、授業体験、教材教具の展示など、参考になったと感想をいただき、好評に終わりました。その中でも特に参加希望の多かった「生活面の支援について」の研修内容を簡単にお伝えします。

～トイレの自立をめざして～小学部児童の事例から

Aさんの実態

- ・基本、家では紙おむつを着用
- ・学校では、布パンツを着用。
- ・紙おむつには排尿するが、布パンツ着用時は6時間以上排尿しない。（トイレでも）
- ・水分をかなり多く摂取したときなどは、学校で数回、布パンツに排尿していることがあった。

Step1～4を段階に分けて取り組むことで、1年半経った今、学校だけでなくデイサービスのトイレで排尿できるようになりました。（家庭では、まだできていません。）児童の特性、実態をみながら、参考にしてください。

Step1 紙おむつを着用したままトイレで定時排尿

Step2 紙おむつを切り取り、定時排尿



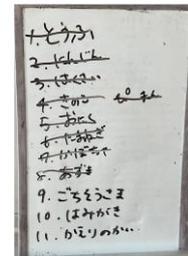
少しずつ切り取る面積を大きくする

Step3 紙おむつなしでトイレで定時排尿

Step4 いつでも どこでも だれとでも！

～偏食指導について～

- 好きなものがある子・食欲旺盛な子 → 好きなものを励みに少しずつ
- 好きなものと一緒なら食べられる子 → 好きなものにのせる
- 正体が分かれば食べられる子 → 食品を説明する。「にんじんだよ」「牛肉だよ」
- 経験不足な子 → スモールステップ「触る→ほっぺにつける→唇につける→なめる→口に入れる→飲み込む」
- 見通しが分かれば食べられる子 → スケジュールを書いて少量から完食経験を積む
→ 終わりが分かるようにする
- 感覚過敏な子 → 食べやすくする。「小さくする」「揚げる」「焼く」
→ 普段からいろいろな素材や感触のものに触れてみる
(ドロドロ、ねばねば、かたいもの)
- 暴れる、口から吐き出すなどで意思表示する子 → 適切な伝え方を提示する。
(「減らしてください」カード)
- 気持ちの準備が必要な子 → 前日、または朝のうちにメニューを知らせる。



子どもたちはもしかしたら、
こんな気持ち？

「得体の知れない物への恐怖」（想像する力や言語理解の力が未発達）
「感覚過敏（トラウマ）」「終わりが見えないことへのつらさ」
「何をがんばればいいのかわからない」



→だからこそ、丁寧に。スモールステップで！「あ！意外といけるやん」と思える経験を！
小さな目標を決める。たくさん褒める、一緒に喜ぶ！信頼関係を大切に！